

## Robust Monetary Policy and Trend Inflation

松山大学 蓮井康平

本研究は、インフレーションのトレンド（以下トレンドインフレ）が高いときにモデルの不確実性がマクロ経済変動にどのような影響を与えるのかを分析する。モデルの不確実性として Hansen and Sargent [2008] のロバスト制御問題をトレンドインフレを考慮したニューケインジアン・モデルに導入し、マクロ経済ショックへの反応を理論的に分析する。

分析の結果、以下の 2 つが判明した。第 1 に、ロバストな金融政策は、トレンドインフレが高くなるにつれて、コストプッシュ・ショックに対して金利を積極的に調節することが判明した。第 2 に、トレンドインフレが高くなるにつれて、ロバスト制御の影響が大きくなり、マクロ経済変数の変動が大きくなることが判明した。

本結果は、モデルの不確実性としてロバスト制御問題を導入することで、1970 年代に米国が経験した、高いマクロ経済変動を伴った高いトレンドインフレを説明できる可能性があることを示している。